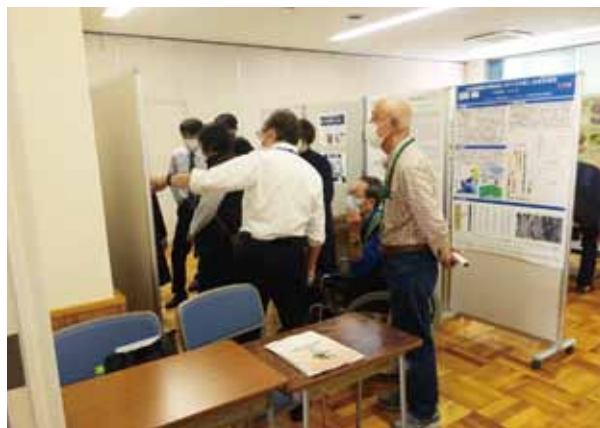


第5回 ふじミュージー自然系文化祭「自然史しずおか祭 2021」

横山謙二



第5回「自然史しずおか祭 2021」開催



11月3日コアタイム、互いの発表を聞き合う参加者。

「自然史しずおか祭」は、ふじのくに地球環境史ミュージアムの秋のイベントとして、2017年度から毎年開催し、今年で5回目となりました。今年の開催期間は、10月26日～11月3日の9日間で、昨年同様、3日にコアタイム、優秀賞の授与式を設けました。今年の発表は、コロナ禍ということもあり、昨年よりも少し発表が少ない、25テーマの発表がありました。

発表者は、ミュージアム研究員、サポーター、NPO 自然博ネットの関係者ほか、静岡県立清水東高等学校、静岡県立田方農業高校、東海大学付属静岡翔洋高等学校の3校が参加してくれました。今回の自然史しずおか祭も、1年間をかけて製作したものや、長年積み重ねてきた記録など、さまざまな研究や活動で、充実していました。

今回の発表では、どの発表も甲乙つけがたい内容でしたが、ミュージアムの研究員を始めとする人達が、指導・協力した高校生の発表が良かったと思います。博物館の良いところは、学校とは違い、知りたい情報を誰でも直接聞け、教わることができるところではないでしょうか。研究員の方々も、正しい調査・記録方法を指導して行くことで、新たな情報や記録を来館者から得ることができるはずです。他の博物館でも実際に行われているところがあるように、学芸員が地域の人達とともに研究活動をし、その研究成果を発表するようになると良いと思います。



大盛況の自然史しずおか祭 2021

自然史しずおか祭は5回を向かえ、発表者が定着しましたが、ここで働く人達の多くは、自然に興味を持っている方が多くいるはずで、発表してみたいと思っている人もいます。幸いにも、私たちの身近には、豊かな自然があり、調査研究の対象となるものが、まだまだ沢山あります。そしてミュージアムには、自然に関する資料や標本が豊富で、研究を指導してくれる先生が多くいます。ミュージアムを活用して、さらに新しい研究活動もできるはずです。来年「自然史しずおか祭 2022」も、絶対に開催したいと考えています。ぜひみなさんが、多くの方々に発表したいと思う、オリジナル性や新知見をもった研究・技術・活動を発表してください。発表したいと思われた方は、自然博ネット横山まで、連絡ください。